



カトリック玉里教会

小教区発足 50 周年記念ミサ

式次第



主司式:カトリック鹿児島司教区 中野裕明司教
日時:2023年7月17日(月) 午前10時
場所:カトリック玉里教会



開 祭

入祭の歌 「私たちは神の民」 ※典礼聖歌 173

答唱 わ た し た ち は か み の た み そ の ま き ば の む れ

- | | | | | |
|------------------|-------|---|--------------|------|
| 1. 「神の家に行こう」と | 言われ | て | わたしの心は喜びに | はずんだ |
| 2. しげく連なる町 | エルサレム | | すべての民の | みやこ |
| 3. イスラエルのおきてに | 従 | い | 神に感謝を ささげる | ために |
| 4. 平和を祈ろう エルサレムの | ために | | 「エルサレムを愛する者に | 平和 |
| 5. わたしの兄弟 わたしの友の | ために | | 「エルサレムに | 平和 |

- | | | | | | | | |
|------------------|---|---|-----------|--------------|----|---|---|
| 1. エルサレムよ わたしたちは | い | ま | おまえの門のうちに | 立っ | て | い | る |
| 2. そこには イスラエルの | 部 | ぞ | く | 神の民が のぼって | 来 | る | |
| 3. そこには さばきの | | 座 | | ダビドの家の座が | すえ | ら | れ |
| 4. その城壁の | う | え | に | その宮殿のうちに | 平 | 和 | 和 |
| 5. わたしたちの神のすまいの | ゆ | え | に | エルサレムの上に 恵みを | 願 | お | う |

会衆へのあいさつ

司 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

司教 平和が皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

回心の祈り

司 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願ひましょう。

一同 全能の神と、兄弟姉妹の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。

聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

司 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン

あわれみの賛歌（キリエ） ※典礼聖歌 207

主 - よ あわれ みたまえ 主 - よ あわれ - み -

た まえ
た ま え 主 - よ あわれ - み - た ま え キリストよ

た まえ
あわれ みたまえ キリストよ あわれ み た ま え

キリストよ あわれ - み - た ま え 主 - よ

た まえ
あわれ みたまえ 主 - よ あわれ - み - た ま え

主 - よ あわれ - み - た - ま え

栄光の賛歌（グロリア） ※典礼聖歌 208

天のいとたかきところには 神に えい光

♩ = 92-96
地 には 善 意 の ひ と に へい 和 あ れ

われら 主 を ほ - - - め 主 - - - を た - た - え

主 - - - を お が み 主 - - - を あ - が め

主の大 - - いなる 栄光のゆえに感謝し

まつる かみなる主 - てんの三 -
たてまつる かみなる主 てんの

全能のちなるかみよ
王 - ぜんのかみよ 主なる御ひとり子

かみなる主 - かみのこひつじ
イエズスキリストよ かみなる主 ちち -

ちちのみ子よ
のみ子よ 世のつみをのぞきたもう

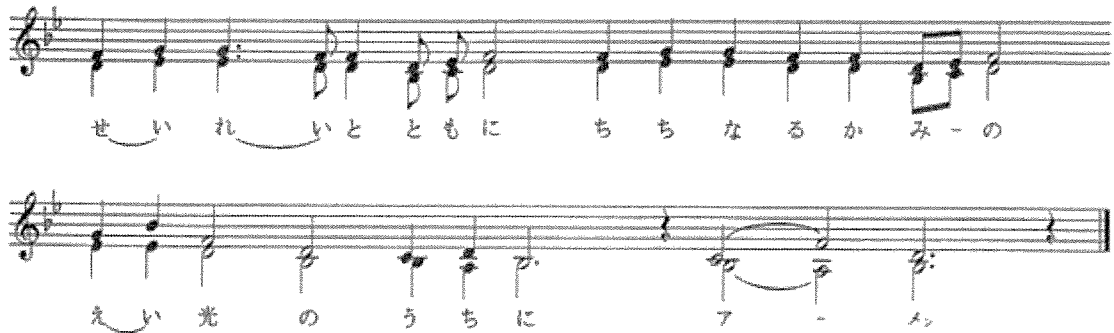
主よわれらをおわれみたまえ 世のつみをのぞき

たもう 主よわれらのねがいをききいれたまえ

ちちのみぎに歴したもう 主よわれらをおわれみたまえ

主のみせいなり 主のみ王 - なり

主のみいとたかし イエズスキリストよ



集会祈願

司 祈りましょう。いつくしみ深い神よ、あなたは年ごとに、カトリック玉里小教区発足を記念させていただきます。あなたの家でいつも清いいけにえがささげられ、豊かな救いの恵みが与えられますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々としえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

ことばの典礼

第一朗読 一コリ (1・18-31)

使徒パウロのコリントの教会への手紙

十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。

それは、こう書いてあるからです。「わたしは知恵ある者の知恵を滅ぼし、賢い者の賢さを意味のないものにする。」

知恵のある人はどこにいる。学者はどこにいる。この世の論客はどこにいる。神は世の知恵を愚かなものにされたのではないか。世は自分の知恵で神を知ることができませんでした。それは神の知恵にかなっていません。そこで神は、宣教という愚かな手段によって信じる者を救おうと、お考えになったのです。ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探しますが、わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。すなわち、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものですが、ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。

兄弟たち、あなたがたが召されたときのことを、思い起してみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力のある者や、家柄のよい者が多かったわけでもありません。ところが、神は知恵ある者に恥をかかせる

ため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選ばれました。また、神は地位のある者を無力な者とするため、世の無に等しい者、身分の卑しい者や見下げられている者を選ばれたのです。それは、誰一人、神の前で誇る事が無いようにするためです。神によってあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。

朗読者 神のみことば。

一同 神に感謝。

答唱詩編 「神のはからいは」 ※典礼聖歌 52 (1・2)



答唱 か みのはからいはか ぎ りなく しょうがいわたしはその なかに 生きる



1. 主よ あなたは代々に わたって わたしたちのすま い 世界が造られる前から 永遠に あなたは か み 2. あなたは人に 「もとにもどれ」と おおせにな り 人は ちに も どされ る



1. 朝ごとに あなたの いくしみを そそ ぎ 日々 わたしたちに 喜びの歌を うたわせてください 2. あなたが いのちを た たれると 人は眠りに おちい る

アレルヤ唱 ※典礼聖歌 276 (11月9日ラテラン献堂)



アレル - ヤ アレル - ヤ この場所を わたしは選び 聖なるものとした



ここに いつまでも わたしの名を とどめる ために アレル - ヤ アレル - ヤ

福音朗読 マルコ 16・15-18

司 主は皆さんとともに。
会衆 またあなたとともに。
司 マルコによる福音。
会衆 主に栄光。

司 それから、イエスは言われた。
「全世界に行って、すべての造られたすべてのものに福音を宣べ伝えなさい。信じて洗礼を受ける者は救われるが、信じない者は滅びの宣告を受ける。信じる者には、次のようなしるしが伴う。彼らはわたしの名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語る。手で蛇をつかみ、また、毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば治る。」

司 主のみことば。
会衆 キリストに賛美。

説 教

信仰宣言

ニケア・コンスタンチノーブル信条

わたしは信じます。唯一の神、
全能の父、
天と地、見えるもの、見えないもの、
すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、
すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となりました。
ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、

苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおりに三日目に復活し、
天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、
死者の復活と
来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

共同祈願

司 　　いつくしみ深い神に、信頼をおいて祈りましょう。

・共同祈願①

一同 　主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

・共同祈願②

一同 　主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

・共同祈願③

一同 　主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

司 　　すべての人の救いを望まれる神よ、カトリック玉里小教区発足記念をするわたしたちが、一つになって神の国のために働き、あなたからいただいたつとめを、愛を込めて果たしていくことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 　アーメン。

感謝の典礼

奉納の歌と奉納行列 「いつくしみと愛」 ※典礼聖歌 321

いつくしみと あい がある-ぼど こにでも か み はそこ にとも にいる

いつくしみと あい がある-ぼど こにでも か み はそこ にとも にいる

1. キリストの愛に	結ばれ	その喜びを	分かちあい
2. わけへだてを	とり除き	ねたみと争いを	退け
3. 光り輝く	キリストを	素顔のままに	仰ぎみる

1. おしみなく	仕えあおう	心から神を	たたえて
2. 輪をひろげて	進みゆこう	主を囲む ひとつの	輪を
3. 尽きぬ喜び	限りなく	世々とこしえに	アーメン

パンを供える祈り

司 神よ、あなたは万物の造り主。
ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

カリス（杯）を供える祈り

司 神よ、あなたは万物の造り主。
ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちの救いの杯となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

司 皆さん、ともにささげるこのいけにえを、
全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆 神の栄光と賛美のため、
またわたしたちと全教会のために、
あなたの手を通しておささげするいけにえを、
神が受け入れてくださいますように。

奉納祈願

司 救いの源である神よ、この供えものを受け入れてください。あなたの教会で祈りをささげる人々を秘跡によって力づけ、その願いを聞き入れてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

奉献文（エウカリスティアの祈り）

司 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司 心をこめて、

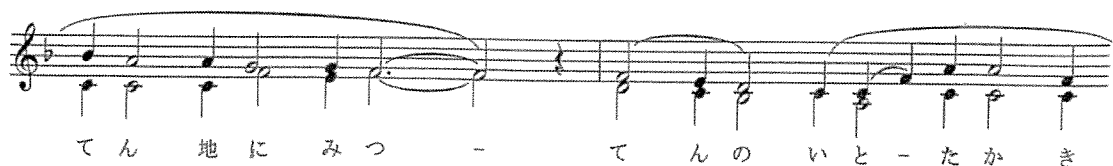
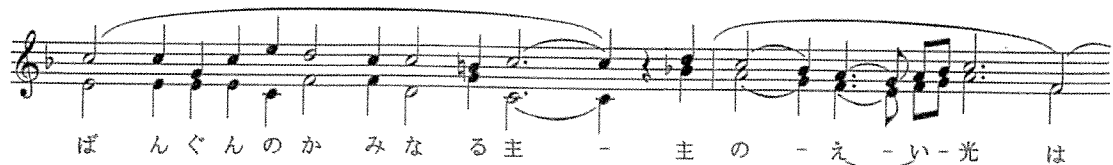
会衆 神を仰ぎ、

司 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務めです。

叙 唱

感謝の賛歌（サンクトゥス） ※典礼聖歌 209



と ころ に ほ ざ ん な ほ む べ - き か - な

主 の 名 に - よ り - て き た る も の -

て ん の い と - た か き と ころ に ほ ざ ん な

第二奉献文

主司 まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、
 全司 いま、聖霊を注ぎ、この供えものを聖なるものとしてください。わたしたちのために、主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。主イエスはすすんで受難に向かう前に、パンを取り、感謝をささげ、裂いて、弟子に与えて仰せになりました。
 「皆、これを取って食べなさい。これはあなたがたのために渡されるわたしのからだである。」

食事の後に同じように杯を取り、感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。これはわたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。これをわたしの記念として行いなさい。」

主司 信仰の神秘。
 会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。再び来られるときまで。

共① 世界に広がるあなたの教会を思い起こし、教皇フランシスコ、わたしたちの司教フランシスコ・ザビエル中野裕明、すべての奉仕者とともに、あなたの民をまことの愛で満たしてください。

共② また、復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟姉妹と、あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。

いま、ここに集うわたしたちをあわれみ、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、使徒とすべての時代の聖人とともに、永遠のいのちにあずからせてください。

御子イエス・キリストを通して、あなたをほめたたえることができますように。

全司 キリストによってキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆 アーメン。

交わりの儀（コムニオ）

主の祈り

司 主イエスは、神を父と呼ぶよう教えてくださいました。
信頼をもって主の祈りを唱えましょう。

一同 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。

司 いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、世界に平和をお与えください。
あなたのあわれみに支えられて、罪から解放され、
すべての困難に打ち勝つことができますように。
わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

会衆 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。

教会に平和を願う祈り

- 司 主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。
「わたしは平和を残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」
主よ、わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を顧み、
おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。
あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々としえに。
- 会衆 アーメン。

平和のあいさつ

- 司 主の平和がいつも皆さんとともに。
会衆 またあなたとともに。
司 互いに平和のあいさつを交わしましょう。
会衆 主の平和。

パンの分割・平和の賛歌（アニュス・デイ） ※典礼聖歌 210

かみのこ-ひつじ 世のつみをのぞきたもう主-よ

われ-らをあわれみた-ま-え-

かみのこ-ひつじ 世のつみをのぞきたもう主-よ

われ-らにへいあん-をあたえたま-え-

拝領前の信仰告白

- 司 世の罪を取り除く神の小羊。
神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。
- 会衆 主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。
おことばをいただくだけで救われます。

拝領の歌 「神の注がれる目は」 ※典礼聖歌 46

答唱 かみのそそがれるめは かみをおそれるものにか
 みのあいなきぼうをおくものうえに

1. 神のことばは	ただし	く	そのわざには	いつわりがな	いた
2. 天は 神のことばによって	つくら	れ	星座は そのいぶきによって	すえられ	たせ
3. 神を王として	いただく	に	神のものとして選ばれた民は	しあわ	せる
4. 神は その	すまいか	ら	地に住むすべての人に目を	そそがれ	る
5. 神は たて 神は	すく	い	わたしたちは 神を	待	ちのぞ
(栄唱) 栄光は 父と子と	せ	いれい	に	よう	むに

1. 神は 正義と公平を	あい	し	いつくしみは 地に	み	ちて	いる
2. 神のはからいは	と	こしえ	みこころの思いは世々に	およ	ぶ	
3. 神は 天から目を	そ	そ	人々をすべて	見	ておられ	る
4. 神は ひとりひとりの心を	つく	り	そのわざを	見	抜かれ	る
5. 心は 神のうちにあって	よ	るこ	どうといその名に	よりたの	む	
(栄唱) 今も	いつ	も	世々に	アー	メン	

信者の拝領

【玉里小教区発足五十周年の祈り】

いつくしみ深い父よ、

五十年前、私たちの先輩方が草牟田のこの地に布教所を建て
 玉里教会として福音宣教の歩みを始めました。

あなたのいつくしみに支えられ、多くの喜びを分かち合い
 あなたに近づく道を今も歩んでいます。

愛する父よ、あなたの愛が私たちに勇気づけ いつも照らし導いておられるこ
 事に感謝し

あなたのその愛である光が これから続く若い世代の人たちにも注がれますよ
 うに。

五十年の節目にあたり、教会の保護者聖パウロの取次ぎを祈りながら、
 新たな気持ちであなたとともに

これからも歩みを進めることができますように。 アーメン。

拝領祈願

司 祈りましょう。

聖なる父よ、あなたは教会が、天の都エルサレムの、目に見えるしるしとなるようお望みになりました。とうとい秘跡にあずかったわたしたちが、恵みに満たされて生きる者となり、あなたの栄光の住まいに入ることができるよう。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

閉 祭

「記念式典」

進行：藤山義和

1. 主任司祭挨拶 ※司教さま・神父さまのご紹介
2. 歴代司祭代表祝辞 ※郡山健次郎名誉司教さま

派遣の祝福

司教 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 祝福を受けるために頭を下げた祈りましょう。

司教 きょう、カトリック玉里小教区発足 50 周年の祝いに招いてくださった神が、皆さんを天の祝福で満たしてくださいますように。

会衆 アーメン。

司教 すべての人を御子のうちに一つに集めてくださる神が、皆さんを聖霊の神殿としてくださいますように。

会衆 アーメン。

司教 清い心を与えてくださる神が、皆さんをすべての聖人とともに、永遠のいのちを受け継ぐ者としてくださいますように。

会衆 アーメン。

司教 全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

閉祭のことば

司 カトリック玉里小教区発足 50 周年記念ミサを終わります。

平和のうちにいきましょう、

日々の生活の中で主の栄光をあらわすために。

会衆 神に感謝。

閉祭の歌 「ごらんよ空の鳥」 ※典礼聖歌 391

1. ごらんよそらのとり 野のしらゆりをまきに
 2. ごらんよそらのくも かがやくにじを地に

もせずつむぎもせずにあやすらかにいきるこん
 めぐみのあめをふらせあざやかにはいえるどん

なに - ちいさない いのちにでさえもこきほ
 なに - くるしなやみの日にえもこきほ

ろをかけるちちがいら
 うをそそぐちちがいら

ともよ - ともよきょうも たたえうた おうすべて
 とよともよきょうも う た おうすべて

のものにしみとおるてん
 のものにしみとおる

のちちのいつくしみを
 てんのちちのいつくしみいつくしみを

退堂

「茶話会」

進行：崎山明

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 信徒総代挨拶 | ※藤山義和 信徒総代 |
| 2. 来賓挨拶 | ※歴代信徒総代表 |
| 3. 乾杯の挨拶 | ※藤山喜和義 信徒副総代 |
| 4. 終わりの挨拶 | ※50周年記念事業副実行委員長 |